

## つきたい力

- ・自分の考えを持つだけでなく、「なぜそう考えたのか」という理由や根拠を明確にした論理的思考力
- ・考えを整理し、筋道を立てて相手に伝える表現力

## 取組みの概要・ポイント

- ・論理的思考を育む場面設定の際、「考えるための10の技法」のうち、どの技法に焦点を当てて考えさせるのかを明確にした授業づくりをする。
- ・思考を整理しながらまとめたり、相手に伝えたりする際のツールの1つとして、「思考ツール」を積極的に活用する。

## 具体的な取組みの内容

### ★スマートスクール実現モデル校2年間における各テーマ★

#### ICTを活用した言語能力の育成 (令和3年度) ～主体的で、対話的で、深い学びを実現する授業をめざして～

令和3年度は、「効果的に」をキーワードに、とにかく活用することで、ICT機器活用での学習効果をはかった。前年度までの研究成果を総合的に見とって、ICT活用の効果を検証するテーマを設定した。

#### ICTを活用した論理的思考力の育成 (令和4年度) ～考えを整理し、筋道を立てて相手に伝えるために～

令和3年度の活用で見えてきた成果と課題を踏まえ、「論理的に」をキーワードに、自分の考えを持ちつつ、「なぜそう考えたのか」という根拠に迫りながら、考えを整理したり、まとめたり、伝えたりする力の育成に取り組んできた。

### ★全教職員で取り組む体制づくり★

- ①毎日1回はICT機器を活用した授業づくりを実践する。
- ②活用事例を「タブレット活用表」に記入→2週間ごとに回収→「タブレット活用報告会」の実施

↓  
毎日の活用を教科・単元名・活用場面・活用法などを記入し、活用事例を資料として記録。

↓  
それぞれの学年の取組みを報告し合い、活用法の実践を共有することで、学校全体での活用力をアップ！

- ③ICT支援員によるICT活用「塾」の開催。

学習に役立つ活用法やアプリ、便利機能、お悩み相談コーナーなど、ニーズに応じた内容で開催。



### ★授業におけるICT機器活用のメリット★



“視覚効果”で  
わかりやすい授業



提示や説明をより具体的に  
行うことができ、わかりやすい  
授業ができる。考えを広げたり、  
深めたりと、対話的な学びが、論  
理的思考力の育成へ  
とつながった。



“試行錯誤”

課題と向き合う際、何度も  
試したり、コピーしたり、削除したり  
といった作業が簡単にできる。「自分の  
考えをどう表現すれば相手に伝わり  
やすいか」の工夫を凝ら  
す児童が増えた。



「考えるための10の技法」  
本時の目標やゴールに辿  
り着くためには10の技法  
のどれに当てはまるのかを  
考え、具体的に指示を出  
すことで、論理的思考の  
育成をめざす！

比較する、分類す  
る、順序付ける、関  
連付ける、理由づ  
ける、見通す、具体  
化する、抽象化する、  
構造化する、多  
面・多角的に見る



“瞬時の共有化”

児童が表現したものをそのま  
ま画面共有でき、複数の考えや  
表現に一度に触れることができ。  
また、それがボタン一つで実行で  
きるため、授業時間を有意  
義に使うことができる。



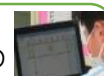
“記録に残す、  
評価に活かす”

学習の成果を記録することで、児  
童のメタ認知になったり、自己調整しな  
がら学習に取り組むことができたと同時に、  
教員は目が届かなかった児童の頑張り  
や上達を見とることができ、評価  
に活かすことができた。



「思考ツール」

「考えるための10の技法」と相性の  
良い思考ツールを活用することで、  
論理的思考の一助になるだけでな  
く、相手に伝  
えるための手  
立てになる！



## 取組みを通しての子どもの変容

- ・自分の考えをまとめる際、本時の目標やゴールに適した「思考ツール」を活用することで、考えを整理しながら、論理的に思考することができた。
- ・時には「思考ツール」を示しながら、自分の考えを分かりやすく伝えることができたようになった。
- ・様々な「思考ツール」の活用の機会を増やすことで、学習課題に応じて、「この考えを整理するためには、〇〇チャートを使おう」と考える児童が増えてきた。

「ICT活用系統表」「タブ  
レット活用表」等の資料は  
こちらから確認できます。

